

会派名	沼田創生会	委員名	小野塚正樹
1	期 日	令和6年12月18日	
2	調査事項	国土交通省 国土政策局による二地域居住講義	
3	所 感	調査後の考察（感想、政策提言、本市にどのように活かせるか など）を記入	

【国土交通省による二地域居住に関する講義の概要と沼田市への適用可能性調査】

1. 講義の概要

(1) 二地域居住の意義 国土交通省は、地方と都市を行き来する「二地域居住」を推進し、都市部の住民が地方での生活を体験しやすくすることで、地域活性化を図る政策を展開している。

また、今後人口減少対策として移住を推進するにあたり、沼田市にとって必要な取組みであり、国土交通省から直接説明を受けられることは大変意義深い。

(2) 政策の背景と目的

- 都市部の過密と地方の過疎のバランスを是正。
- 地方経済の活性化と人口減少対策。
- テレワークやワーケーションの普及を活かしたライフスタイルの多様化促進。
- 地方創生の推進

(3) 具体的な施策

- 住宅支援制度の拡充：地方での住宅取得・賃貸の補助金制度。
- 交通インフラ整備：都市と地方を結ぶ交通手段の充実。
- 地域振興のための補助金・助成制度：地方移住や二地域居住者向けのビジネス支援。
- 試験的な滞在促進：短期滞在プログラムやお試し住宅の整備。

2. 沼田市における適用可能性

(1) 強みと課題

- 強み
 - 自然環境の豊かさ（四季を楽しめる観光資源が豊富）。
 - 首都圏からのアクセスの良さ（新幹線、高速道路の利用）。
 - 既存の観光資源を活かした長期滞在型観光の可能性。
- 課題
 - 住宅や施設の受け入れ体制の整備。
 - 交通インフラの更なる充実（特に公共交通の利便性向上）。
 - 地域コミュニティとの連携や受け入れ体制の強化。

(2) 具体的な施策提案

- 二地域居住者向けの住宅支援策

- 空き家活用プロジェクトの推進。
- 短期滞在施設の整備。
- テレワーク環境の充実
 - コワーキングスペースの設置やインターネット環境の整備。
- 観光資源と連携した長期滞在プログラムの創出
 - 地域農業体験、アウトドア観光、文化活動などのプログラム開発。
- 交通アクセスの改善
 - バス路線の見直しやカーシェアリングの導入。
 - 沼田駅と市内各地を結ぶ移動手段の整備。

3. 今後の進め方

- 国土交通省の支援制度を活用し、自治体としての施策立案を進める。
- 住民や民間事業者と連携し、実証実験を行いながら施策の調整を図る。
- 地域住民の理解を得るための情報発信や説明会の開催。

4. まとめ

国土交通省の二地域居住推進策を活用することで、沼田市は移住促進と地域活性化を同時に進めることができる。既存の資源を活かしつつ、インフラ整備や受け入れ体制の構築を進めることで、都市部からの移住者や滞在者を増やす取り組みを推進していくことが望ましいので、一般質問の議題として提案し政策立案を実行していく。